

## 平成29年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 (職)准教授 (氏名) 広瀬 義朗

取組状況	
教育	<p>1. 国際社会と文化 I (3年生、選択科目)では、1年生時の地理歴史 I の復習とグループワークを行った。前半の授業では、ワークブックの進度において前年度の範囲を上回ることができ、解答・解説を増やせたのは大きい。授業の後半では、グループワークを行い、前期と後期の2回発表の機会を与え実践できた。</p> <p>2. 経営学 I (4年生、選択科目)では、上の1と同様にi-PADを使ったグループワーク、AL形式の授業を行った。チームを編成し、企業の財務分析を行い、各チームで発表してもらった。AL形式の実践的な取り組みと一部上場企業の財務分析を行うことは、学生が就職企業選択の際に大いに役立ったに違いない。</p> <p>3. 公民 II (3年生、必修科目)では、日本政策投資銀行、日本年金機構品川事務所、財務省関東財務局東京財務事務所の3カ所から講師を招き、講演を依頼した。日本政策投資銀行では、起業の仕方、日本年金機構では年金制度のあり方と重要性、財務省では日本財政の現状など、専門家による講演は学生にとって刺激的でありかつ有意義であった。</p>
研究	<p>1. 論文を執筆 広瀬 義朗「カナダの下院総選挙と財政」『龍山会研究会50周年記念論文集』、勁草書房。平成30(2018)年6月刊行予定(査読有り)。</p> <p>2. 研修集会報告 「産技高専(品川)におけるALを取り入れた課題研究授業」(広瀬、篠原、山内:3月7日、第2回高専一技科大AL研究集会(木更津高専))</p>
社会貢献	<p>1. OPC公開講座「日本財政の行方ー消費税の必要性について」</p> <p>2. 夏期集中講義「日本産業論」において中小企業家同友会大田支部の方々にお越し頂き、学生の発表の際に貴重なコメントを頂いた。</p> <p>3. 平成29年度の産技祭では、青物横丁商店街だけでなく鮫洲商店街の方々にも声がけをし、ポスターを合わせて60枚程度掲示させて頂いた。鮫洲商店街では、新規開拓に成功した。これにより2つの商店街の皆様と交流が深まった。</p>